

## ■中国新聞&山陽新聞

弊社がお手伝いした案内看板が新聞に掲載されました。

笠工の SNS などをチェックされている

OB の方からも『OB としてもお礼が言いたい！』

とご連絡を頂きました！

OB の方にも喜んで頂き、良かったです♪

今後可能なことは、協力出来たら・・・

と思います☆

### 手作りの案内板登場

かさおか太陽の広場  
笠岡工高生20人が担当



笠岡市カプト東町のかさおか太陽の広場に、笠岡工業高生徒が手掛けた新たな案内板がお目見えした。かわいらしいイラストを添え、園内のBMXコースや遊具、トイレなどの場所を示している。案内板(高さ60センチ、幅90センチ)は園内西側の各スポットに遊具や地形の絵を入れて分かりやすくしたほか、紙飛行機を飛ばす子どもなど、10カ所にある広場など、地はピンク色を採用。

電気情報科3年生が設計し、1年生がイラストなどデザインを担当。28日の設置作業は、地元企業の協力を得ながら環境土木科2年生が担い、生徒は総勢20人が携わった。電気情報科3年大塚燎火さん(18)は「遊びに来た子どもでも親しみやす

### 太陽の広場に案内板

笠岡工高生が製作



奉仕団体の国際ソロプチミスト笠岡(笠岡市)は、認証35周年記念事業で、かさおか太陽の広場(カプト東町)に案内板を寄贈した。製作した笠岡工高生たちが見守る中、同広場の管理棟近くに設置した。

横90センチ、縦60センチの亚克力製で、青い背景に白線や白文字で遊具やスケートボード場、BMXコースなどを紹介している。笠岡工高生約20人が昨年5月から、授業で学んだ技術を生かす「笠工テクノ工房」の作業としてパソコンソフトで設計。同校卒業生がいる倉敷市の会社で、レーザー加工して製作した。

1986年発足のソロプチ笠岡は、昨春に認証35周年事業で同広場の防犯カメラ1機(30万円相当)と案内板製作費50万円を市へ寄贈。市から頼まれた笠岡工高生が案内板を作った。穴戸久子会長は「市のお役に立てる事業として、子どもたちが遊ぶ広場の案内板を決めた。多くの人に親しんでほしい」と期待している。

(谷本和久)

た。電気情報科3年生が設計し、1年生がイラストなどデザインを担当。28日の設置作業は、地元企業の協力を得ながら環境土木科2年生が担い、生徒は総勢20人が携わった。電気情報科3年大塚燎火さん(18)は「遊びに来た子どもでも親しみやす

いよつと心掛けた。多くの人に見てもらいたい」と話す。国際ソロプチミスト笠岡の認証35周年事業「ストの穴戸久子会長は

として昨春、ものづく「工夫が凝らされた」りで地域貢献する同高の「笠工テクノ工房」市都市計画課は「分かりに依頼して制作、市に寄贈した。ソロプチミストの案内板でありたい」とした。(山本貴之)